

4月スタート!

こども誰でも通園制度 が始まります

保護者の就労の有無にかかわらず、ひと月あたり一定時間の範囲内で、保育施設を利用できる制度を4月から開始します。利用申請の方法や利用可能施設については、市ウェブサイト（下の二次元コード）をご覧ください。

対象

保育所等に通っていない生後6カ月～2歳のこども

時間

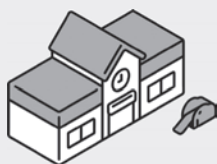
こども1人当たり月10時間まで

料金

1時間当たり300円程度



▲詳細はこちら



申込 保育幼稚園課 ☎ 083-934-2798

30分
▼対象 小学生先着50人
▼講師 西京高校陸上部
▼料金 5000円（傷害保険、飲み物代込み）
▼持参品 タオル、帽子、走りやすい服装、室内シューズ（雨天時）
▼所申込 2月18日（水）8時30分～27日（金）に、FAXまたはEメールで、①名前（ふりがな）、②年齢（学年）、③性別、④連絡先を明記の上、山口南総合センター
083・972・8333、
083・972・4777、
info@-nanso.com



子育て

各保健センター等の所在・連絡先は17ページ下参照

入学通知書は届きましたか

令和8年度に市内小・

中学校へ入学するお子さんがいる家庭に、入学通知書を発送しています。まだお手元に届いていない場合は、お問い合わせください。



▼対象 小学校：平成31年4月2日～令和2年4月1日に生まれた方、中学校：平成25年4月2日～平成

26年4月1日に生まれた方
学校教育課 ☎ 083・934・2862

こども医療費助成制度 受給者証送付について

令和8年度に市内小学校へ入学するお子さんについて、新しい受給者証を3月中旬に郵送いたします。なお、転入や未申請等の理由により受給者証の交付を受けていないお子さんについては、申請が必要です。詳細は下の二次元コード参照。



申込 保険年金課 ☎ 083・934・2803

物価高対応子育て応援手当

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を応援するため、0歳から高校生年齢までの児童を対象に児童1人当たり2万円の物価高対応子育て応援手当を支給します。詳細は下の二次元コード参照。



支給対象者

- 令和7年9月分（令和7年9月に出生した児童については10月分）の児童手当の受給者
- 令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童の父母等

▼支給額 児童1人当たり2万円（1回限り）

申請等

- 令和7年9月分の児童手当受給者と令和7年9月に出生した児童の児童手当受給者（公務員以外）は、申請が不要です。児童手当受給口座へ振り込みします。振込日が決まりましたら通知します。
- 次の方は、申請が必要です。

①公務員（各所属庁からの案内により申請をお願いします。）

②令和7年10月1日から令和8年3月31日までに生まれた児童の父母等（公務員以外は、市から申請書を送付します。）

申込 こども未来課 ☎ 083・934・2797

母子・父子家庭 自立支援給付金制度

20歳未満の児童を養育する母子家庭の母、父子家庭の父を対象とした給付金制度です。対象となる要件等があります。事前にご相談ください。

【高等職業訓練促進給付金】

就職に有利な資格を取得するため、6カ月以上、養成機関で修業する場合、高等職業訓練促進給付金を修業期間中（上限48月）支給します。

▼対象 市内に住所を有し、次の要件を全て満たす方

・児童扶養手当受給者または同等の

所得水準にある方。(ただし、所得水準を超過した場合であっても、1年に限り引き続き対象)

・養成機関において6カ月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が確実に見込まれる方

・就業または育児と修業の両立が困難であると見込まれる方

▼対象資格 看護師、理学療法士、作業療法士、調理師等

【自立支援教育訓練給付金】

指定された教育訓練給付講座を受講した場合、受講料等の6割相当額(上限20万円、下限1万2000円)を支給します(雇用保険法の適用者は差額分)。

▼対象 市内に住所を有し、次の要件を全て満たす方

・自立に向けた計画(母子・父子自立支援プログラム)の策定等を受けている方

・講座を受講することが適職に就くために必要と認められる方

※いずれも過去に給付金を受給していない方が対象です。

※同居の親族がいる等、世帯状況により対象とならない場合もあります。

☎子育て保健課 083・934・2960

里親カフェ

里親制度の周知および理解の促進を図るとともに、新たな里親の担い

手を確保するため、里親制度説明会「里親カフェ」を開催します。

▼日時 2月19日(木) 14時～15時30分

▼場所 お菓子のジエネレ(錦町5・25)

▼内容 里親体験談、里親制度に関する相談対応

※お店が提供しているドリンクメニュー1品をサービス

☎里親養育サポートセンター りーふ 0835・28・8776



健康

各保健センター等の所在・連絡先は17ページ下参照

おたふくかぜワクチン費用助成の期間延長

おたふくかぜワクチンについて、ワクチンの供給不足で対象期間内に接種できない方に対して、令和9年3月31日まで助成対象期間を延長します。予約が必要な場合がありますので、事前に実施医療機関へお問い合わせください。

▼対象 本市に住民票があり、左記に該当する方で対象期間に接種できなかった方

・1回目：令和5年4月2日から令和7年3月31日生まれ。

・2回目：平成30年4月2日から令和2年4月1日生まれ。

ワクチン供給不足のため、対象期間外に自費で接種された方は、償還払いとなります。詳細は下の二次元コード参照。



☎保健センター(健康増進課)

特定保健指導の利用期限が迫っています

市国民健康保険特定健康診査の結果から、生活習慣病になるリスクが高いと判断された方へ、特定保健指導利用券を送付しています。特定保健指導には、動機付け支援・積極的支援の2種類があり、いずれも原則3カ月間生活習慣の改善に取り組むことで、メタボリックシンドロームの解消を目指します。医師、保健師、管理栄養士などの面談により、健康改善への支援を受けることができます。

▼有効期限 3月31日(火)

※利用券が2月・3月に届いた方は4月30日(木)

▼利用方法 利用券に同封のチラシ「特定保健指導実施機関一覧」から実施場所を選択し、直接お申し込みください。

※利用券を紛失された方はお問い合わせください。

☎保健センター(健康増進課)

※市国民健康保険以外の医療保険に加入している方は、それぞれの医療保険者にお問い合わせください。

健康チェック・健康相談会

【今日から始める！口コミ予防】

▼日時 3月3日(火) 9時～11時

▼内容 立ち上がりリテスト、体組成測定、保健師・管理栄養士による健康相談、健康運動指導士による運動相談、各種展示(口コミ予防について) など

▼対象 市民で健康づくりに関心のある方、各種健康診査結果について相談のある方など

▼持参品 各種健康診査結果(お持ちの方)

※体組成測定を希望する方は、はだしになれる服装でお越しください。

☎小郡保健福祉センター

女性の健康づくり教室

女性の身体は生涯を通じて、女性ホルモンの影響を大きく受けています。女性ホルモンが大きく変動する時期(特に40～60代)の健康づくりについて、申神正子氏(産婦人科医師)や澄川絵里奈氏(健康運動指導士)から、カラダやココロのメンテナンス方法をお伝えします。

▼日時 3月3日(火) 13時30分～15時30分(13時から受け付け)

▼対象 市民(女性のみ) 先着30人程度(要予約)

▼料金 50円

▼持参品 筆記用具、水分補給用の